

平成 25 年度

九州工業大学附属図書館アンケート調査報告書

平成 26 年 4 月 11 日

九州工業大学附属図書館

1. 調査の実施

目的と方法

- ◆ 利用者サービス向上および事業計画の遂行確認を目的とする。
- ◆ 調査方法は、Web によるアンケート調査とした。また、アンケート終了後、図書館スタッフ、職員等も参加し希望者とグループ・インタビュー（Library カフェ）を行った。

調査期間

- ◆ 平成 26 年 1 月 20 日（月）～ 2 月 21 日（金）

調査対象

- ◆ 工学部（戸畑）、情報工学部（飯塚）、生命体（若松）の全 6,444 人（内訳 学生 5,876、教職員 568：平成 25 年 5 月 1 日現在）。

周知方法

- ◆ メールによる URL 一斉送信。
- ◆ 教員へは各学科事務室へ依頼しメールボックスへ用紙をポスティング、メール転送。
- ◆ 図書館内、各学科事務室、生協 2 階へポスター掲示、カウンターでのちらし配布。
- ◆ 卒業生・修了生へ「図書貸出状況確認」発行時に個別に依頼。
- ◆ HP 掲載。
- ◆ 各種会議や 1 月全学学術情報委員会での協力依頼。

回答方法

- ◆ 原則 Web による回答とし、紙媒体での回答は補助的に使用した（回収後、図書館スタッフにより Web へ入力を行う）。

グループ・インタビュー（Library café）

- ◆ アンケート調査では知りえない学生のニーズを知るため、カフェのような自由な雰囲気では図書館について、ざっくばらんに語り合う場を設けた。本館（戸畑）・分館（飯塚）それぞれで希望者を募り、本館（戸畑）7 名、分館（飯塚）4 名の学生が参加した。
- ◆ 戸畑（本館）はワールド・カフェの手法を取り入れ 90 分のセッションを実施した。飯塚（分館）はインタビュー形式とし 2 回（各 90 分）実施した。

2. 調査の結果

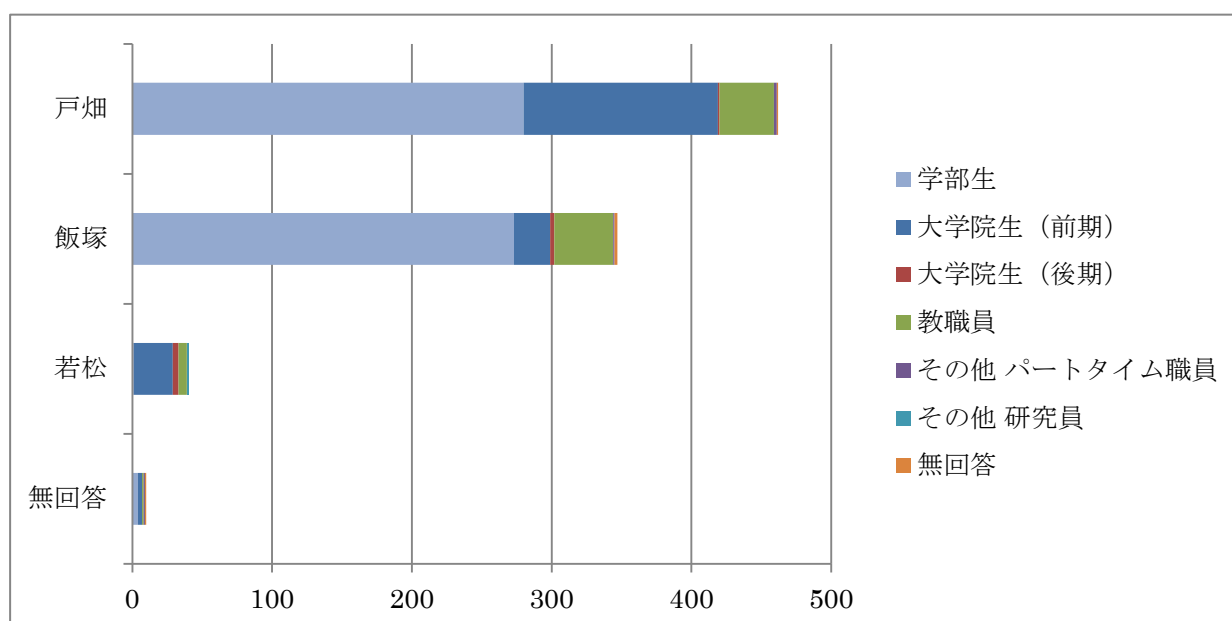
2-1. 基本調査項目

- ◆ 有効回答数は、859 件、調査対象全体の 13.3%であった。
- ◆ 回答方法は、Web による回答 607 件、紙媒体での回答は 252 件であった。
- ◆ 回答者身分および所属の内訳は、下記表 1. 図 1.のとおりである。教職員からの回答率も学生とさほど変わらなかった。

表 1. 回答者身分・所属別回答者数内訳（人・％）

身分		工学部(戸畑)	情報工学部(飯塚)	生命体(若松)	無回答	合計	
学部生		280	273	1	4	558	13.0%
大学院生(前期)		139	26	28	3	196	14.9%
大学院生(後期)		1	3	4	0	8	2.9%
教職員		39	42	6	1	88	15.5%
その他	パートタイム職員	2	1	0	1	4	
	研究員	0	0	1	0	1	
無回答		1	2	0	1	4	
合計		462	347	40	10	859	13.3%

図 1. 回答者身分・所属別回答者数内訳図（人）



◆ 設問内容：あなたは図書館をどれくらい利用しますか。

表 2-1. 利用頻度 (人)

ほぼ毎日	54
週に2～3回	162
月に数回	403
試験期のみ	72
ほとんど利用しない	162
(空白)	6
総計	859

図 2-1. 利用頻度 (人)

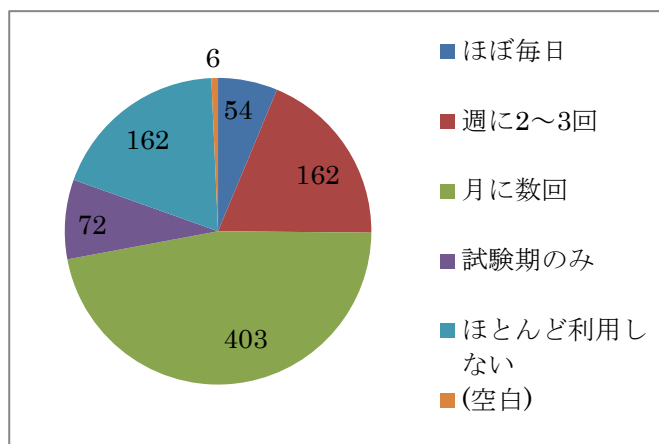
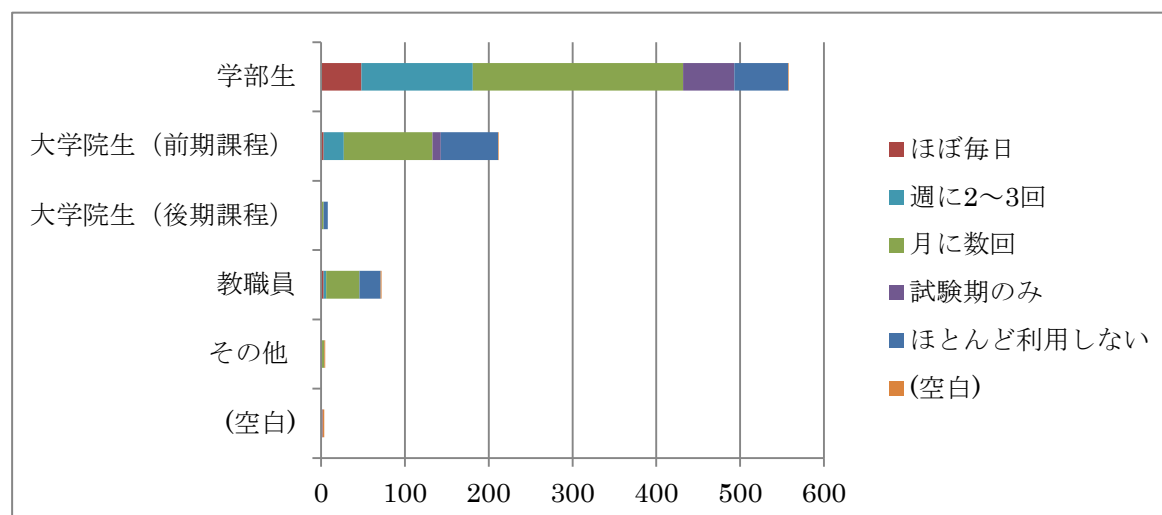


表 2-2. 回答者身分別利用頻度 (人)

	学部生	大学院生 (前期課程)	大学院生 (後期課程)	教職員	その他	(空白)	総計
ほぼ毎日	48	3	0	3	0	0	54
週に2～3回	133	24	0	3	1	1	162
月に数回	251	106	3	40	3	0	403
試験期のみ	61	10	0	0	0	1	72
ほとんど利 用しない	64	68	5	25	0	0	162
(空白)	1	1	0	1	1	2	6
総計	558	212	8	72	5	4	859

図 2-2. 回答者身分別利用頻度 (人)



◆ 設問内容：図書館をよく利用する時間帯はいつですか。（複数回答可）

表 3-1. 利用時間帯 （人）

8 時半-12 時	111
12 時-13 時	120
13 時-15 時	265
15 時-17 時	347
17 時-20 時	368
20 時-22 時(試験期)	94

図 3-1. 利用時間帯 （人）

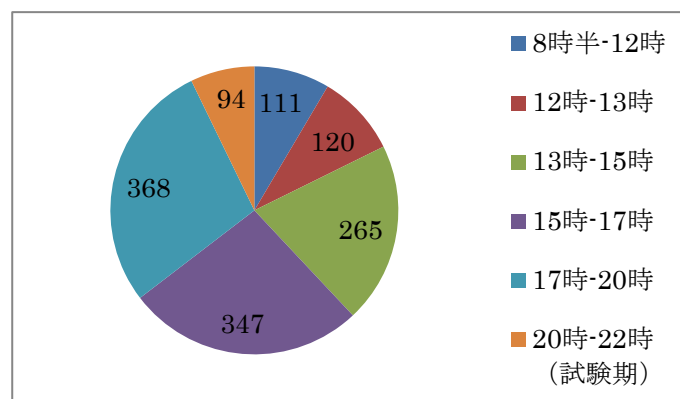
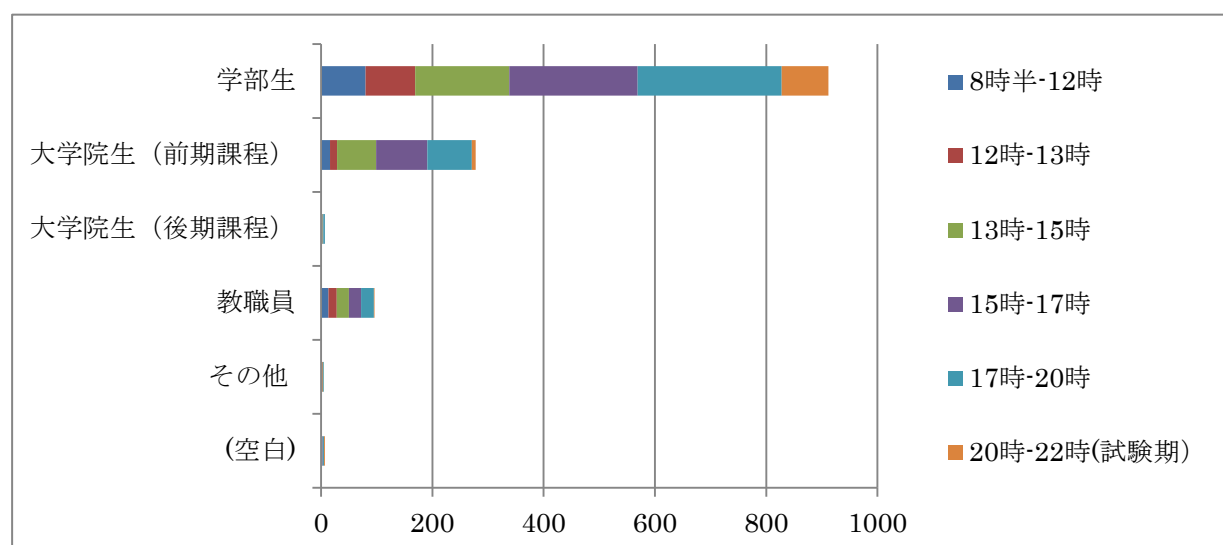


表 3-2. 回答者身分別利用時間帯 （人）

	学部生	大学院生 (前期課程)	大学院生 (後期課程)	教職員	その他	(空白)	総計
8 時半-12 時	80	16	0	13	1	1	111
12 時-13 時	89	13	0	15	2	1	120
13 時-15 時	169	70	3	22	1	0	265
15 時-17 時	231	92	1	22	0	1	347
17 時-20 時	259	80	3	23	1	2	368
20 時-22 時 (試験期)	84	7	0	1	0	2	94
総計	912	278	7	96	5	7	1305

図 3-2. 回答者身分別利用時間帯 （人）



◆ 設問内容：図書館を利用する目的は何ですか。（複数回答可）

表 4. 利用目的（人）

図書館資料の利用貸出	556
レポート・論文作成	393
学期末等試験の準備	311
授業の予習・復習	143
娯楽・教養雑誌の閲覧	120
新聞の閲覧	105
PC(Webコンテンツ・履修登録等)の利用	97
DVD等視聴覚資料の視聴	78
資格試験の準備	76
その他	30
ラーニングコモンズ等でのグループ学習・授業	29
電子ジャーナル・二次資料データベースの利用	26
マイライブラリ	11

※その他：自由記述

図書館利用学習の学生指導のため

講義の準備

研究に必要な専門知識を調べるため

研修、打ち合わせなど

業務上の技術的な情報収集

就職活動（WEBテストの受験・履歴書作成）

図書館イベントへの参加

ラーニングコモンズサポーター

ALSAの利用

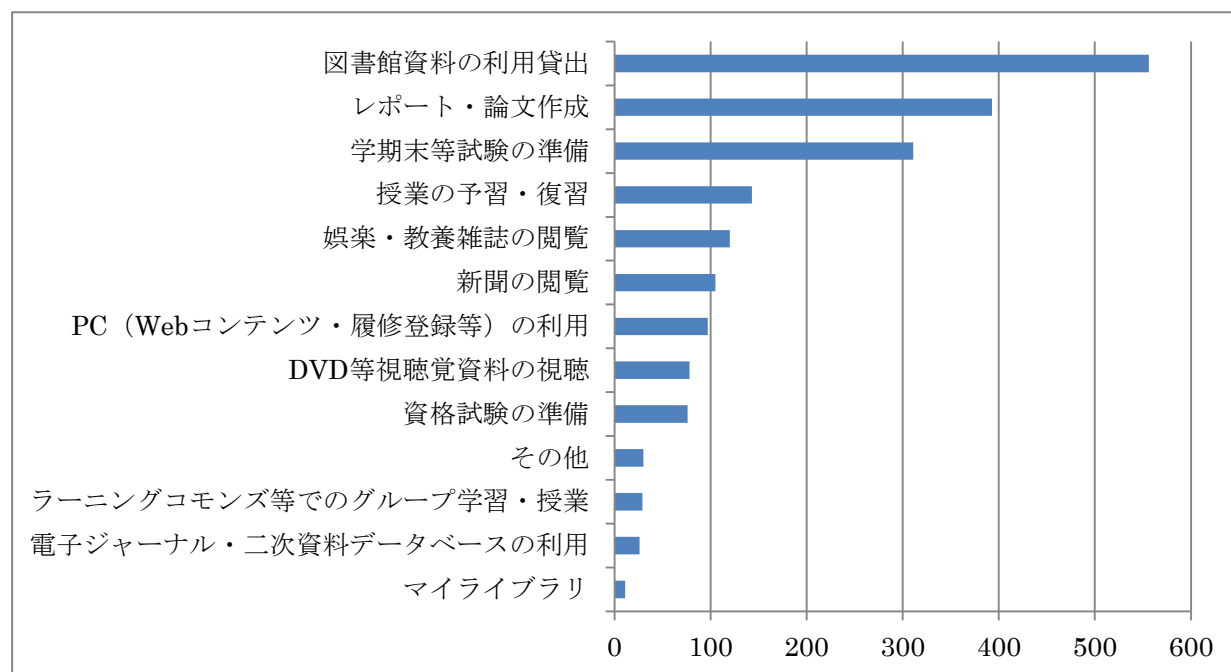
サークルの活動の場所として利用している

文献複写

場所としての利用

（雰囲気・居心地・休憩・暇つぶし）

図 4. 利用目的（人）



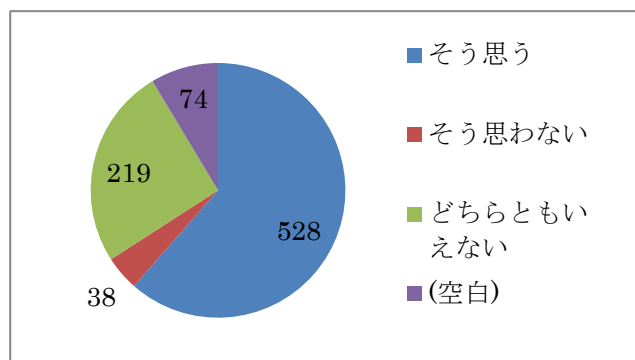
2-2. 情報へのアクセス

- ◆ A-1 図書館のウェブサイトは、自力で情報を見つけられるように作られている。

表 A-1 ウェブサイトの利便性 (人)

そう思う	528
そう思わない	38
どちらともいえない	219
(空白)	74
総計	859

図 A-1 ウェブサイトの利便性 (人)

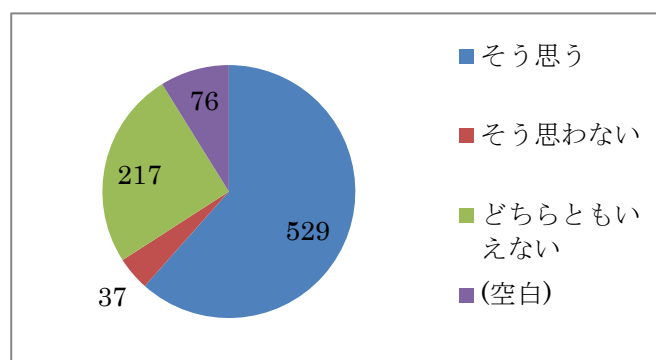


- ◆ A-2 図書館は、必要な情報に容易にアクセスできるような機器・設備を備えている。

表 A-2 機器・設備の充実 (人)

そう思う	529
そう思わない	37
どちらともいえない	217
(空白)	76
総計	859

図 A-2 機器・設備の充実 (人)

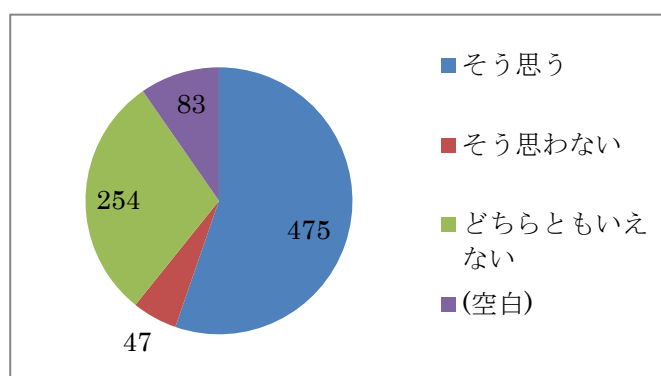


- ◆ A-3 図書館は、自分で必要な情報が探せるような使い易いアクセスツールがある。

表 A-3 アクセスツールの利便性 (人)

そう思う	475
そう思わない	47
どちらともいえない	254
(空白)	83
総計	859

図 A-3 アクセスツールの利便性 (人)

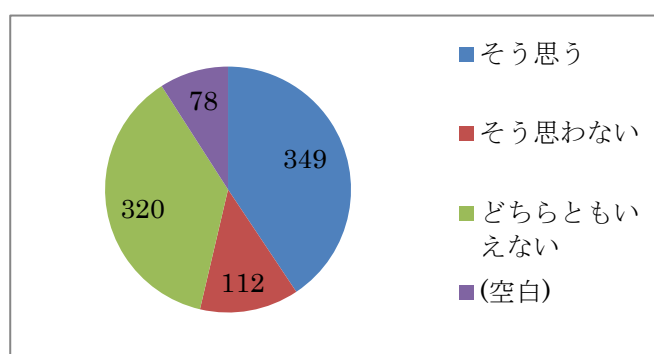


- ◆ A-4 自宅または研究室から、データベースや電子ジャーナル等の電子資源にアクセスできる。

表 A-4 学外アクセスの利便性（人）

そう思う	349
そう思わない	112
どちらともいえない	320
(空白)	78
総計	859

図 A-4 学外アクセスの利便性（人）

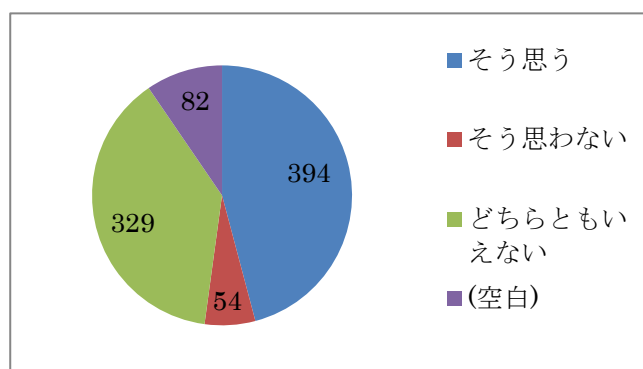


- ◆ A-5 図書館内の案内・掲示は、必要な資料等が探しやすいようになっている。

表 A-5 案内・掲示の利便性（人）

そう思う	394
そう思わない	54
どちらともいえない	329
(空白)	82
総計	859

図 A-5 案内・掲示の利便性（人）



情報へのアクセスについては、A-1 ウェブサイト、A-2 機器・設備、A-3 アクセスツールは半数以上が「そう思う」と回答した。対して、A-4 学外アクセス、A-5 案内・掲示については、「そう思わない」・「どちらともいえない」の比率が高い。学外アクセス可能なデータベース等の周知やアクセス方法の手順の簡便化が課題である。また館内図や案内の掲示の見直しも必要と考えられる。

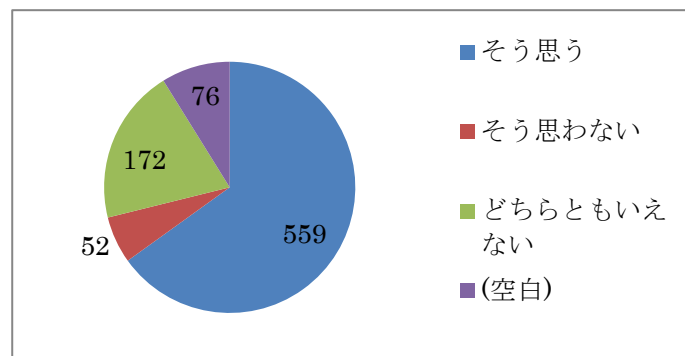
2-3. 学術情報資源の充実

◆ B-1 図書館には、授業に関連する図書がそろっている。

表 B-1 授業用図書の充実 (人)

そう思う	559
そう思わない	52
どちらともいえない	172
(空白)	76
総計	859

図 B-1 授業用図書の充実 (人)

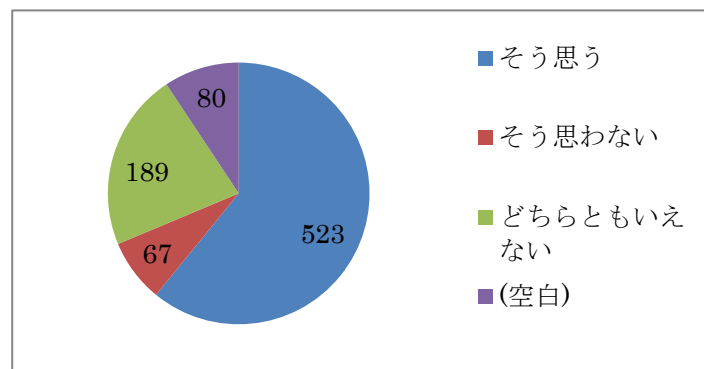


◆ B-2 図書館には、専門的な教育研究に必要な図書がそろっている。

表 B-2 専門図書の充実 (人)

そう思う	523
そう思わない	67
どちらともいえない	189
(空白)	80
総計	859

図 B-2 専門図書の充実 (人)

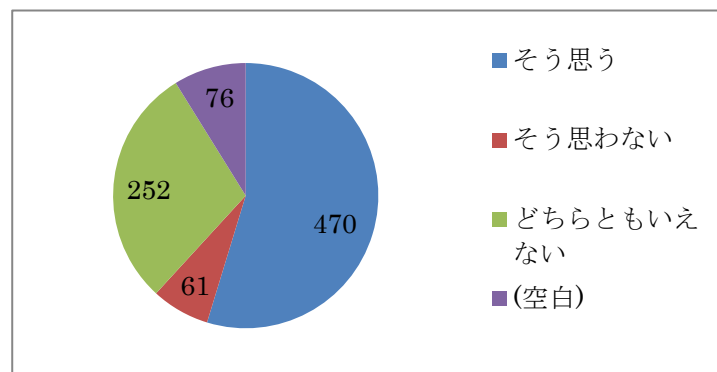


◆ B-3 図書館には、教養や知的関心に資する図書が幅広くそろっている。

表 B-3 教養図書の充実 (人)

そう思う	470
そう思わない	61
どちらともいえない	252
(空白)	76
総計	859

図 B-3 教養図書の充実 (人)

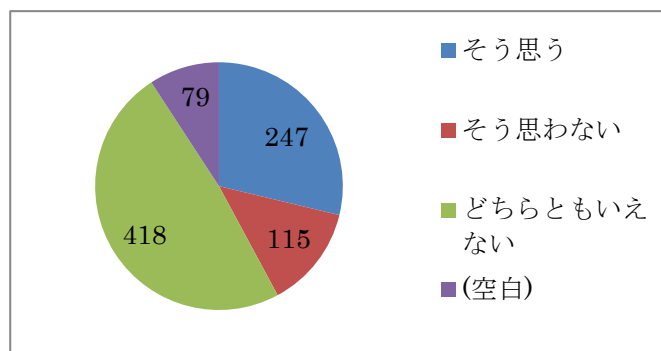


◆ B-4 図書館には、最新の資料がそろっている。

表 B-4 最新資料の充実 (人)

そう思う	247
そう思わない	115
どちらともいえない	418
(空白)	79
総計	859

図 B-4 最新資料の充実 (人)

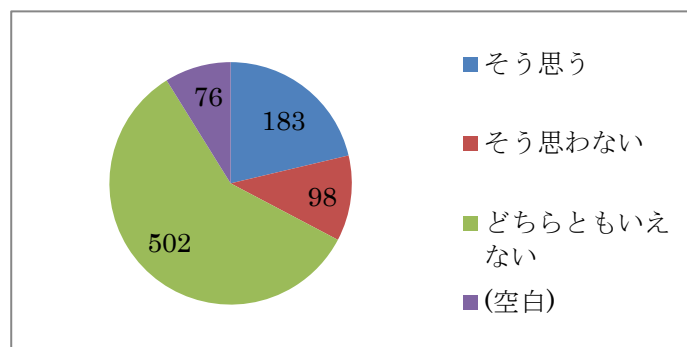


◆ B-5 図書館には、電子ジャーナルや電子ブックがそろっている。

表 B-5 電子リソースの充実 (人)

そう思う	183
そう思わない	98
どちらともいえない	502
(空白)	76
総計	859

図 B-5 電子リソースの充実 (人)

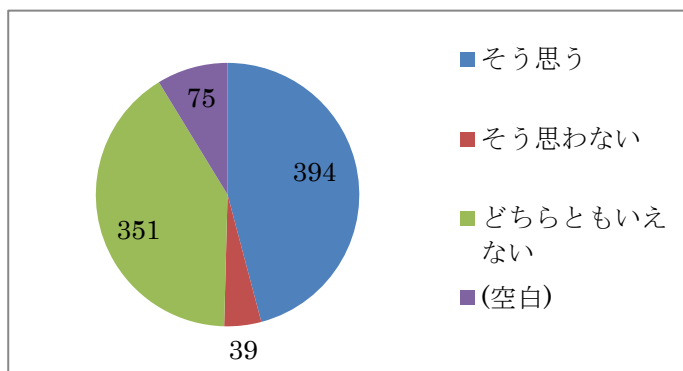


◆ B-6 図書館には、調べものを行う図書（辞書・事典類・文献目録）やデータベースがそろっている。

表 B-6 参考図書の充実 (人)

そう思う	394
そう思わない	39
どちらともいえない	351
(空白)	75
総計	859

図 B-6 参考図書の充実 (人)

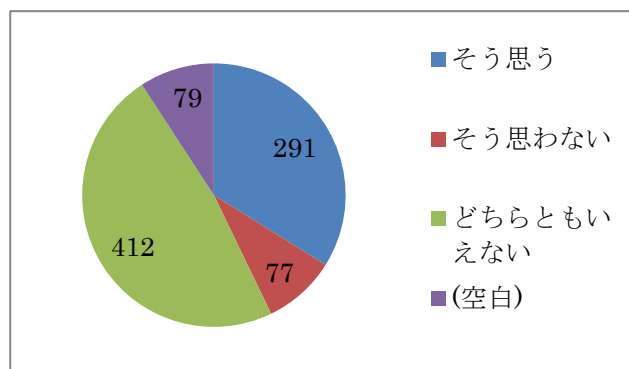


◆ B-7 図書館には、視聴覚資料（ビデオ・DVD・CD）がそろっている。

表 B-7 視聴覚資料の充実 （人）

そう思う	291
そう思わない	77
どちらともいえない	412
(空白)	79
総計	859

図 B-7 視聴覚資料の充実 （人）



学術情報資源のうち、B-4 最新資料、B-5 電子リソースが特に「そう思わない」の割合が高かった。電子リソースについては、「どちらともいえない」の割合も高く、周知の低さが考えられる。利用者が冊子体・電子媒体問わず最新の情報へシームレスに素早くアクセスできるようなツールの提供、周知が課題であると考えられる。

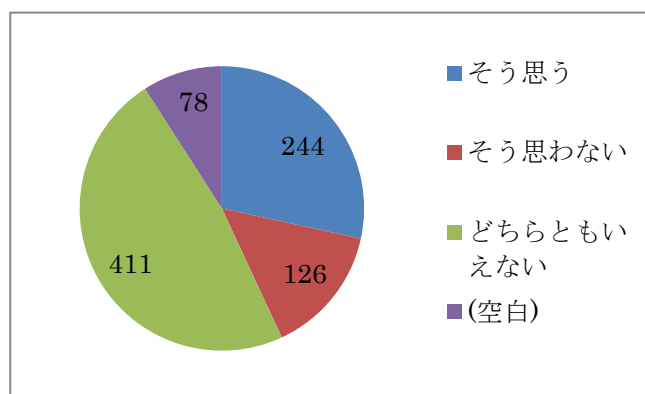
2-4. 情報リテラシー

◆ C-1 図書館が実施するオリエンテーションやガイダンスは役に立っている。

表 C-1 オリエンテーション・ガイダンス （人）

そう思う	244
そう思わない	126
どちらともいえない	411
(空白)	78
総計	859

図 C-1 オリエンテーション・ガイダンス （人）

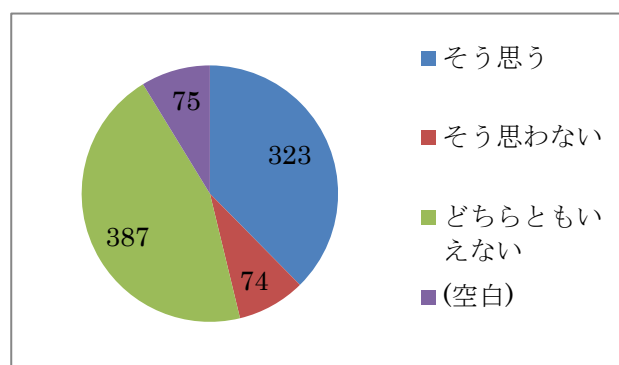


- ◆ C-2 図書館は、信頼性の高い情報とそうでない情報とを判別するうえで、役立っている。

表 C-2 資料の評価 (人)

そう思う	323
そう思わない	74
どちらともいえない	387
(空白)	75
総計	859

図 C-2 資料の評価 (人)

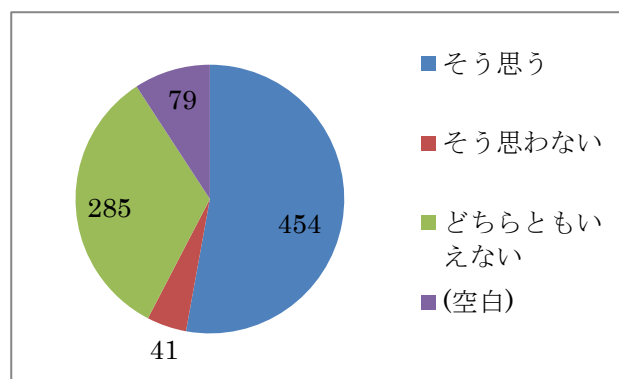


- ◆ C-3 図書館は、学習や研究において必要な情報スキルを提供してくれる。

表 C-3 情報スキルの提供 (人)

そう思う	454
そう思わない	41
どちらともいえない	285
(空白)	79
総計	859

図 C-3 情報スキルの提供 (人)

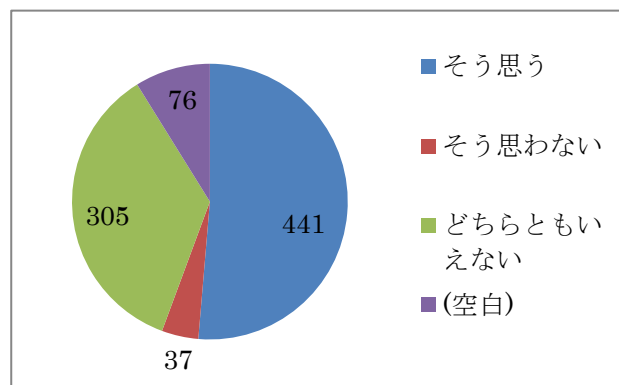


- ◆ C-4 図書館が提供するデータベース等の文献情報検索ツールは、学習・研究するうえで役立っている。

表 C-4 文献情報検索ツール (人)

そう思う	441
そう思わない	37
どちらともいえない	305
(空白)	76
総計	859

図 C-4 文献情報検索ツール (人)



◆ C-5 図書館で、授業と連携したレポートの書き方や調べ方の講習会を実施して欲しい。

表 C-5 講習会の実施 (人)

そう思う	270
そう思わない	158
どちらともいえない	352
(空白)	79
総計	859

図 C-5-1 講習会の実施 (人)

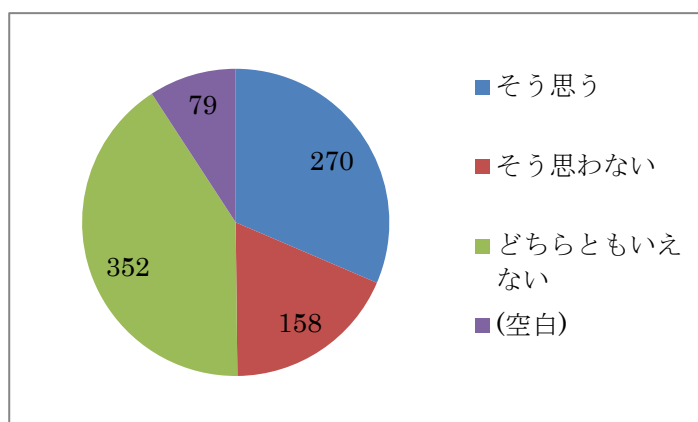
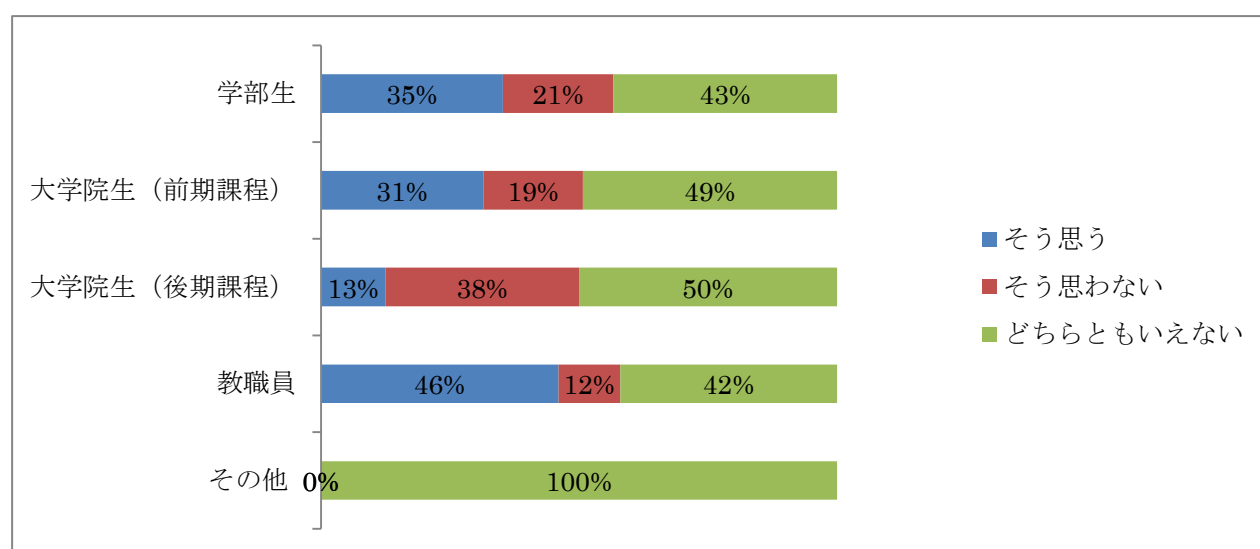


図 C-5-2 回答者身分別割合 (%)



情報リテラシーについては、初年次の必修授業・オリエンテーション・任意の初級ガイダンスと4年次以降の中級ガイダンスを実施している。C-1、C-2は「そう思う」の割合が低く、C-3、C-4は高いため、ツールやスキルの提供そのものは有効であると言えるが、実施のタイミングや内容を見直す必要があると考えられる。

また、C-5の講習会の実施について、教職員のニーズが一定数見受けられ(図 C-5-2)、ニーズのある教員への働き掛けが必要であると考えられる。

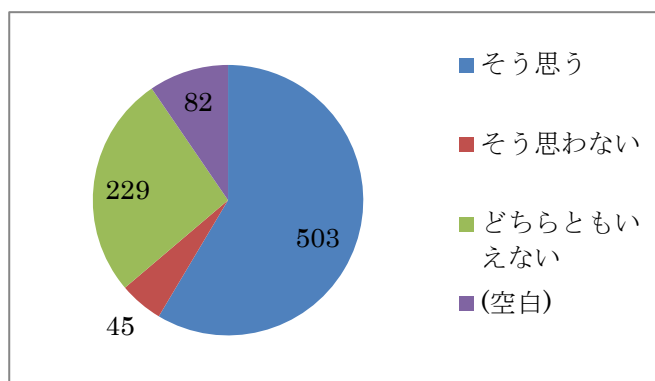
2-5. 場としての図書館

◆ D-1 図書館は、学習・研究意欲をかきたてられるような場所である。

表 D-1 学習・研究のための場所 (人)

そう思う	503
そう思わない	45
どちらともいえない	229
(空白)	82
総計	859

図 D-1 学習・研究のための場所 (人)

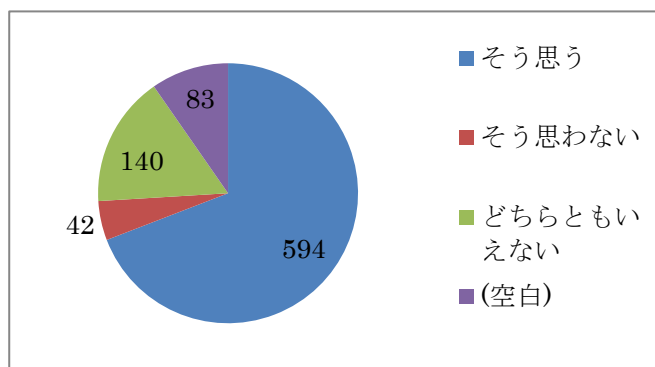


◆ D-2 図書館は、ひとりで学習・研究するための静かな空間がある。

表 D-2 学習空間 (人)

そう思う	594
そう思わない	42
どちらともいえない	140
(空白)	83
総計	859

図 D-2 学習空間 (人)

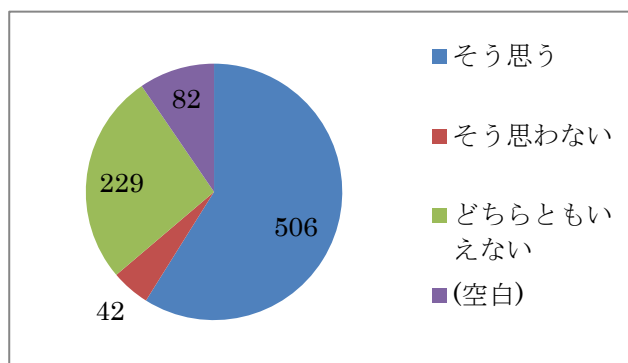


◆ D-3 図書館は、快適でまた行きたくなるような場所である。

表 D-3 快適さ (人)

そう思う	506
そう思わない	42
どちらともいえない	229
(空白)	82
総計	859

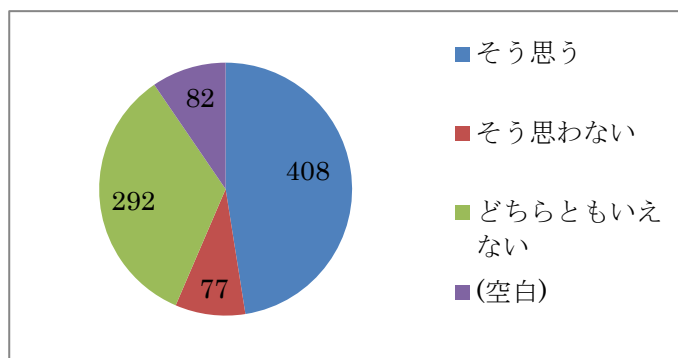
図 D-3 快適さ (人)



◆ D-4 図書館は、グループ学習や共同研究のためのスペースが整っている。

表 D-4 グループ・共同研究のための場所（人） 図 D-4 グループ・共同研究のための場所（人）

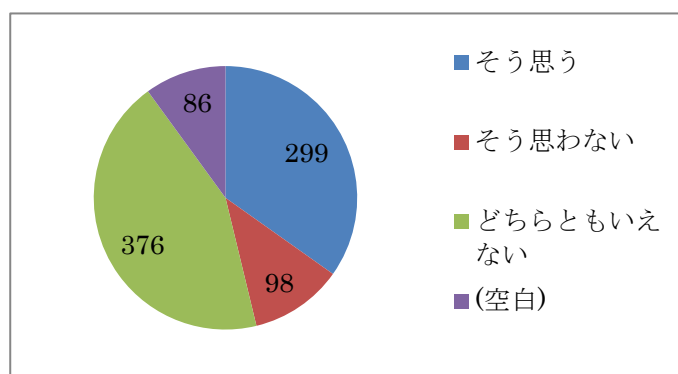
そう思う	408
そう思わない	77
どちらともいえない	292
(空白)	82
総計	859



◆ D-5 図書館は、グループ学習や共同研究のための機器や設備が整っている。

表 D-5 グループ・共同研究の機器・設備（人） 図 D-5 グループ・共同研究の機器・設備（人）

そう思う	299
そう思わない	98
どちらともいえない	376
(空白)	86
総計	859



場所としての図書館については、静かな学習空間としての機能はおおむね満足を得られている（D-1、D-2、D-3）。対して、グループ学習や共同研究のための場所としては、機器・設備の充実や認知度アップが課題といえる。

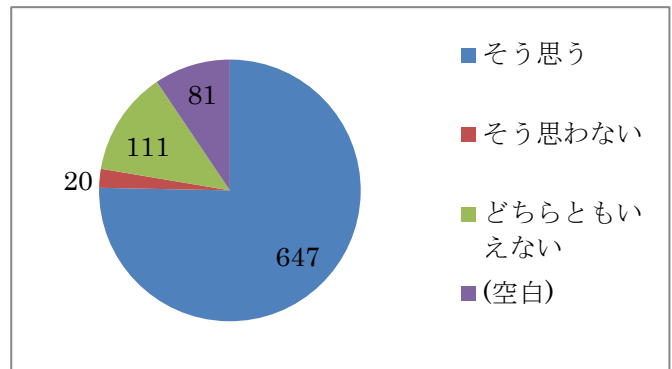
2-6. 利用サービス

◆ E-1 図書館スタッフは、いつも礼儀正しく丁寧である。

表 E-1 スタッフの応対 (人)

そう思う	647
そう思わない	20
どちらともいえない	111
(空白)	81
総計	859

図 E-1 スタッフの応対 (人)

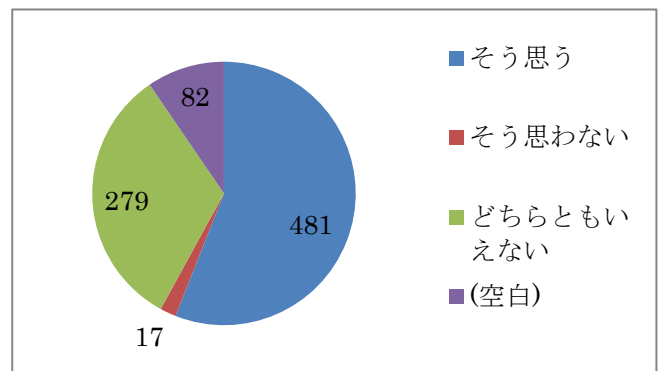


◆ E-2 図書館スタッフは、利用者の質問に回答できる知識を持っている。

表 E-2 レファレンス知識 (人)

そう思う	481
そう思わない	17
どちらともいえない	279
(空白)	82
総計	859

図 E-2 レファレンス知識 (人)

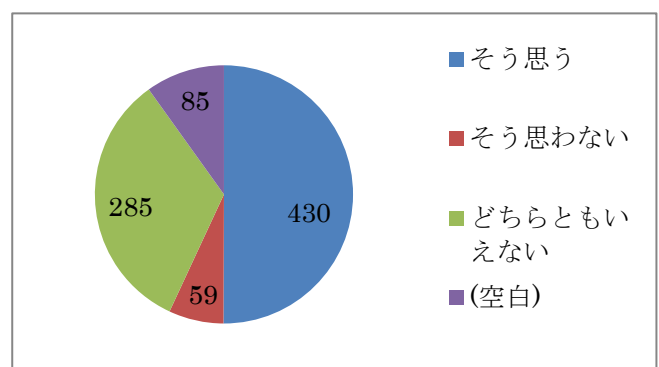


◆ E-3 図書館は、自分の知りたいことを質問しやすい環境が整っている。

表 E-3 レファレンス環境 (人)

そう思う	430
そう思わない	59
どちらともいえない	285
(空白)	85
総計	859

図 E-3 レファレンス環境 (人)



利用サービスについては、概ね満足を得られていると言える。ただし、E-2やE-3は「どちらともいえない」の割合が高く、質問をしたことがない等の理由が考えられる。そのため、質問しやすい雰囲気づくりやスタッフの能動的な関わりを増やすことが必要である。

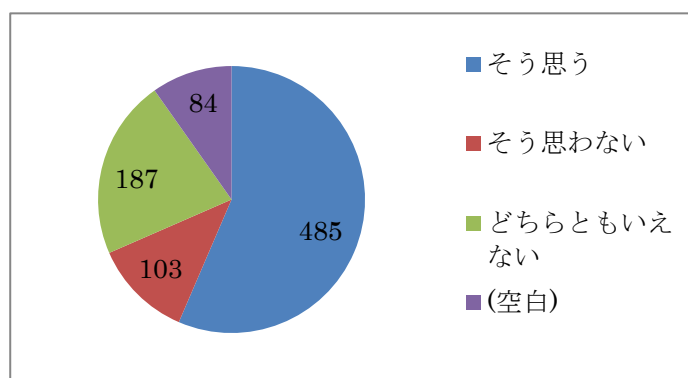
2-6. 利用環境

◆ F-1 図書館の開館時間は満足できる。

表 F-1 開館時間満足度 (人)

そう思う	485
そう思わない	103
どちらともいえない	187
(空白)	84
総計	859

図 F-1 開館時間満足度 (人)

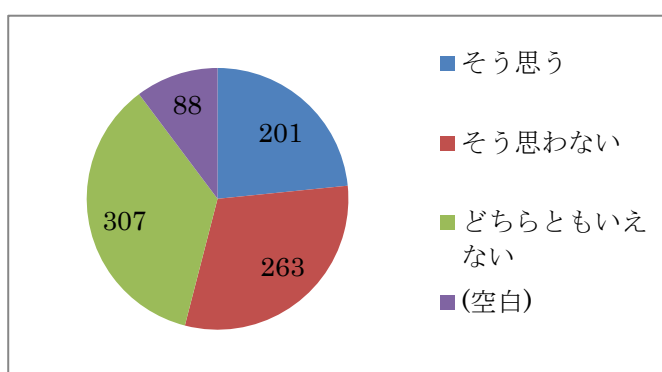


◆ F-2 図書館の開館時間（平日 8 時 30 分～20 時）の延長が必要である。

表 F-2 開館時間の延長 (人)

そう思う	201
そう思わない	263
どちらともいえない	307
(空白)	88
総計	859

図 F-2 開館時間の延長 (人)



◆ 開館希望時間（自由記述）

表 5 開始希望時間（人） ※変更なしは除く

6 時から	1
7 時から	3
7 時 30 分から	1
8 時から	23
8 時 10 分から	1
9 時から	2
総計	31

表 6 閉館希望時間（人）

21 時まで	22
21 時 30 分まで	3
22 時まで	50
23 時まで	2
23 時 30 分まで	1
24 時まで	10
2 時まで	1
24 時間 (貸出のみ:1、試験期のみ:3)	12
総計	101

表 7 その他（人）

土日開館	7
土曜の開館時間を早めて欲しい・開館時間変更	4
8:30 前から開館	2
いつも平日は 20 時まで開けてほしい	1

開館時間変更について、最も希望が多かった時間をとると 8:00～22:00 となった。ただし、自由記述であったため閉館時間のみ延長を希望する人も多かった。

また、F-2 で「そう思わない」「どちらともいえない」と答えた人の中では、「試験期間中の土日の開館時間を 8:30 にしてほしい」といった声があった。また、平日ではなく土日の開館時間の変更や、試験期間以外の土日開館を希望する声もあった（表 7）。

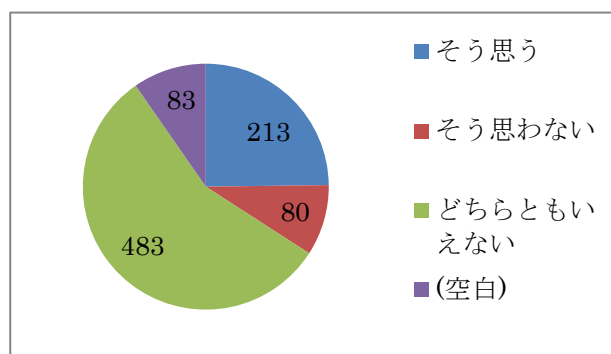
2-7. 学術情報資源の発信

- ◆ G-1 図書館は、本学の学術資源を外部へ発信するために貢献している。

表 G-1 外部発信への貢献 (人)

そう思う	213
そう思わない	80
どちらともいえない	483
(空白)	83
総計	859

図 G-1 外部発信への貢献 (人)

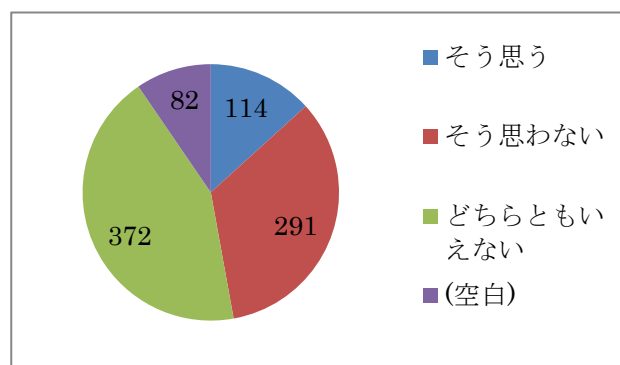


- ◆ G-2 本学の博士論文等を電子的に提供している学術機関リポジトリ「Kyutacar」は十分に認知されている。

表 G-2 学術機関リポジトリ (人)

そう思う	114
そう思わない	291
どちらともいえない	372
(空白)	82
総計	859

図 G-2 学術機関リポジトリ (人)

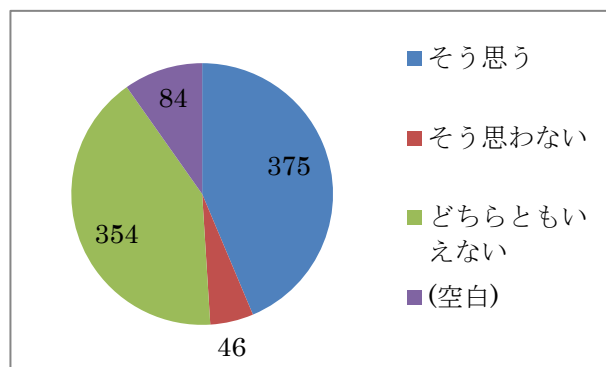


- ◆ G-3 図書館で、論文だけでなく教材や研究データも電子化し提供・保存して欲しい。

表 G-3 学術情報資源の電子化 (人)

そう思う	375
そう思わない	46
どちらともいえない	354
(空白)	84
総計	859

図 G-3 学術情報資源の電子化 (人)

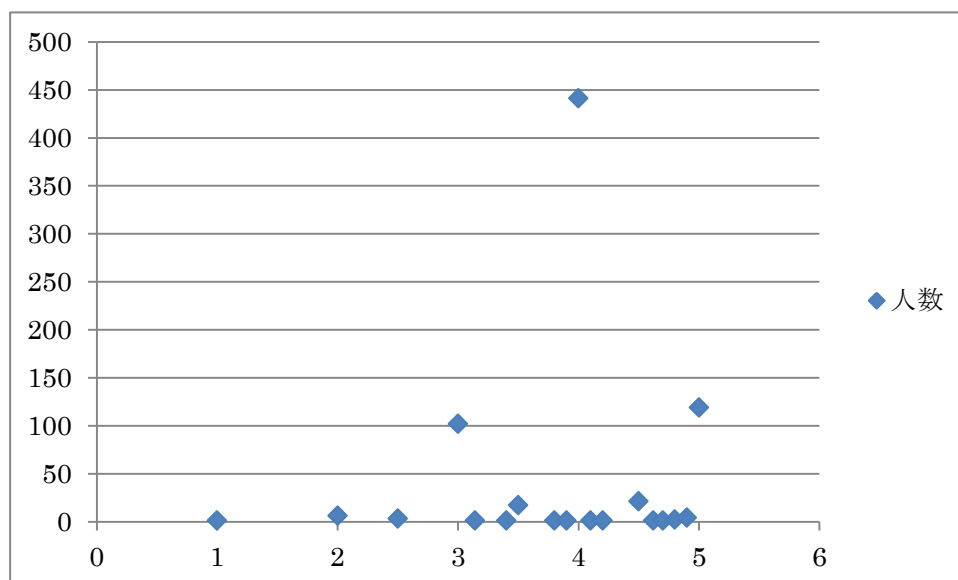


学術情報資源の発信については、「どちらともいえない」の割合が非常に高く学術機関リポジトリをはじめ、あまり認知されていないと考えられる。ただし、G-3 学術情報資源の電子化へのニーズは高いため、外部発信および教材・研究データ等資源の電子化への取り組み強化が必要であると考えられる。

2-8. 全体満足度評価

◆ 設問内容：この図書館全体の満足度について、5 点満点で点数を付けて下さい。

図 5 全体満足度評価散布図 ※空値・エラー値（5 点以上）を除く



全体満足度評価は、4 点（441 人）、5 点（119 人）、3 点（102 人）の順で多く、平均値は 4.0 点、標準偏差は 0.6 であった。

アンケート全体をとおして、利用者サービス向上のためにデジタルコンテンツの整備・アクセス支援やグループ学習のための学習環境の充実、ニーズのある教員と連携した情報リテラシー教育について、今後さらに強化する必要があると考えられる。

2-9. 自由記述による意見

◆ 統計（質的調査）

項目	内訳	戸畑	飯塚	若松	計
01 蔵書		44	35	3	82
	01 充実	24	25	2	51
	02 電子リソース・充実	3			3
	03 新刊	2	2		4
	04 電子リソース	1	1		2
	05 複本	1	1		2
	06 配置	7	5	1	13
	07 リクエスト図書	3	1		4
	08 その他	3			3
02 施設・設備		31	14	2	47
	01 PC	2			2
	02 空調	7	4		11
	03 座席	4	3		7
	04 トイレ	1			1
	05 ネットワーク	3	1		4
	06 ラーニングコモンズ	3	1		4
	07 ABC	1	1		2
	08 入口		1		1
	09 音			1	1
	10 個室	2	1		3
	11 飲食	5	1	1	7
	12 AVブース	1	1		2
	13 コピー	2			2

項目	内訳	戸畑	飯塚	若松	計
03 開館時間		16	6		22
	01 時間延長	6	2		8
	02 時間延長(朝)	2	1		3
	03 時間延長(夜)	4	2		6
	04 休館日	4	1		5
04 資料の利用		13	6	1	20
	01 貸出返却	6	3		9
	02 キャンパス間取り寄せ	1	3	1	5
	03 ILL	4			4
	04 督促	1			1
	05 その他	1			1
05 アンケート		2			2
06 接遇		1	2	1	4
07 利用マナー		6	6		12
	01 騒々しい	6	4		10
	02 睡眠		1		1
	03 その他		1		1
08 利用案内		1	1		2
	01 館内案内	1			1
	02 サービス		1		1
	03 その他				
09 OPAC		2	1		3
10 その他		5	3	1	9
	01 資料管理	1			1
	02 その他	4	3	1	8

項目	内訳	戸畑	飯塚	若松	計
11 肯定的評価		23	14	3	40
	01 蔵書	6	2	1	9
	02 施設・設備	6	2		8
	03 開館時間	1	1		2
	04 資料の利用			1	1
	05 アンケート				
	06 接遇	4	2		6
	07 利用マナー		1		1
	08 利用案内				
	09 OPAC	1			1
	10 その他	5	6	1	12
	総 計	144	88	11	243

◆ 自由記述による意見事例（抜粋）

01 蔵書

- ・専門的図書は比較的揃っているように感じるが、一般教養にかかわる図書が不十分であるように感じる。今、流行している本だけでなく、古典的な本（特に絶版になっていて購入できないような本）が揃っているとよいと思う。（戸畑）
- ・「工業大学」の「附属図書館」であるため、仕方ないことだとは思いますが、日本文学書籍が少ないと思います。（飯塚）
- ・もう少し化学に関する資料を充実させてほしいです。（若松）
- ・もっとより多く電子ジャーナルに対応してほしい。取寄せだと時間がかかってしまう。（戸畑）
- ・おおむね満足して使えているが、最新の本の入荷が遅い。特に学術関連の本は極めて遅く感じます。（飯塚）
- ・できれば本は2部ずつ置いてほしいです。工学部の図書館には3部あるのに情報工学部では1部しかないものもあるので。（飯塚）
- ・文学コーナーの本が探しにくい。作者の五十音順で並べるなど、本の置く位置を考えてほしい。
（戸畑）
- ・本の分類（おそらくNDC）が、不十分な気がします。具体的には、3Fフロアは、殆どが専門書ですが、電子工学で統一されているのは違和感を感じます。例えば、固体物理学系の本と計算機科学系の本が電子工学と一緒にたにされています。（本棚のラベルは電子・工学ばかりになっている気がします。）（飯塚）
- ・リクエスト図書がリクエストしてからすぐ図書館に入るようになると、うれしいです。（飯塚）

02 施設・設備

- ・人が来やすい環境を作りたいと思うなら、夏場の空調設備をどうにかした方がいいと思います。
（戸畑）
- ・夏、冬の空調をもう少し利かせてほしい。夏場は暑くなくてもなかなか付かないし、冬場も寒くなってから付くのが遅いと思う。（飯塚）
- ・就活を自分のPCでやりたくて持ち込むことがあるが、学内LANの無線が弱くよく途切れる。インターネット環境の整備をしてほしい（戸畑）
- ・1階にディスカッションできる場所があるが、資料図書と混合した空間なので少し話しづらく感じる。（戸畑）
- ・グループワークを行う場を設けたことによって、静かにしなくてはならないところでも大きな声で会話をしている利用者が多く見られるようになった。グループワークを行う場はMiraisがあるので、図書館には必要なかったのではないかと思います。（飯塚）

- ・自動貸出機が手順通りにやってもうまくできないので、何とかしてほしいです。(戸畑)
- ・もっと飲食しやすい空間を確保してほしい。(自販機など)(戸畑)
- ・DVDを見る場所が周りにも見えるようになっているので、個室のような場所があれば嬉しいです。(飯塚)

03 開館時間

- ・試験期間の土日の開館時間を早めて欲しいです。11時〜だと中途半端に感じます。(戸畑)
- ・日曜も開けてほしい 土日と長期休暇も20時までは開けてほしい(戸畑)
- ・開館時間が短いので、24時くらいまで延長してほしい。(飯塚)
- ・土曜日の図書館開館時間を11時ではなくもう少し早く早めにしてけると有り難いです。(飯塚)

04 資料の利用

- ・分館からの取り寄せをHP上で行いたい(戸畑)
- ・飯塚の付属図書館から戸畑の本を借りるときに、まだwordの書類を書いてメールで連絡しなければいけないので、オンラインにしていだければありがたいです。(飯塚)
- ・若松キャンパスからもウェブ等を通して貸出ができるようにしてほしい(若松)
- ・調べたい分野に関連する本の返却予定が5, 6冊まとめて半年以上先になっていたのが困ります(戸畑)
- ・4年生の貸し出し期間を1ヶ月にしてほしい(飯塚)

05 アンケート、 06 接遇

- ・利用していないのでアンケートをわたされても困る。(戸畑)
- ・電子書籍関連は、このアンケートで初めて知った。(戸畑)
- ・もう少し図書館の職員の方に愛想良くしてほしい(飯塚)

07 利用マナー

- ・二階、三階で私語が目立つ人がいるのが気になります。(戸畑)
- ・私語をしている人が気になるので、もう少し貼り紙があればと思います。(戸畑)
- ・二階の端末が設置してある所で学生が騒いでいるのを見かけるので、注意をして欲しい。(飯塚)
- ・試験期間中に3階での私語が目立つので、3階の机はすべて仕切りで区切るなどの会話をさせないか、BGMを流すなどの会話を気にさせない工夫をしたほうがいいと思います。(飯塚)

08 利用案内、 09 OPAC

- ・階段上がってすぐのところに地図イラストなどで場所を示してもらえると、本を探す時間が短縮出来るのではないかと思います。(戸畑)
- ・図書検索のPCを増やしてほしい。(戸畑)
- ・検索がしづらいイメージが有る。(戸畑)
- ・図書館で本を探すときに、館内のパソコンで探すのだが、番号でここにありますよと書かれても分かりにくいので、図でどこにあるか示して欲しい。(飯塚)

10 その他

- ・CDが汚れていて聴けない事があるので、定期的に掃除して欲しいです。(戸畑)
- ・学術情報DB(CiNii等)のリテラシー講義はそれなりに役立ちますが、結局のところ、どのサーチエンジンを使うべきか、どのジャーナルに目を通しておくか等は研究室、もっといえば指導教員に依存する気がします。そうすると、先生方向けに講義をして、トップダウン式に学生たちに伝えるのがいい気がしています。(＃すでに、教員向けの講座もされているのであれば、申し訳ありません。)(飯塚)

11 肯定的評価

- ・スタッフさんが親切です。新しい本とかも入っていて嬉しいです。これからも使わせていただきます。(戸畑)
- ・スタッフの方々は対応がいつも丁寧で、図書館の環境にも満足しています。(戸畑)
- ・スタッフさんにおすすめのDVDを聞いたりして、DVD鑑賞を楽しむことができました。ありがとうございました！(戸畑)
- ・1階がディスカッションスペースになって勉強しやすい環境になったと感じた。(戸畑)

- ・雰囲気もよく、読みたい本がすぐ見つかるよう検索エンジンもしっかりしていて重宝しています。(戸畑)
- ・いつも購入希望図書の申請が了承されていることをうれしく思います。今後も積極的に新しい本を購入していただきたいです。(戸畑)
- ・蔵書希望を出したら、すぐに対応してくれたのでよかった。(戸畑)
- ・素晴らしい環境です。(戸畑)
- ・マイライブラリが利用しやすくなったり、本が豊富だったり、スタッフの人たちの対応が良かったりで、最近利用回数が増えました。(飯塚)
- ・ラーニングコモンズのスペースは素晴らしいと思います。(飯塚)
- ・ポイントカード制にしたのが楽しくて良いと思います。(飯塚)
- ・図書館のデザイン募集をし、作成したバックを50冊返した人にプレゼントするキャンペーンは面白かったです。また、キャンペーンがあれば、参加したいと思います。(飯塚)
- ・試験期間の時の開館時間の延長や、スタッフさんの対応が毎回丁寧で現状に不満はありません。その上情報系資格の参考書や問題集について、最近の本が増えてきているのでとても嬉しかったです。また一年のころは図書館の利用は英語の宿題のために本を借りる為だったけど、ポイントカードやリニューアルなどイベントや資格の勉強があり、2年になってから割と頻繁に行くようになりました。図書館内はとても綺麗なので、この環境が続いてもらえるとありがたいです。(飯塚)
- ・ここの図書館は私が今まで利用したどの図書館よりも素晴らしい図書館です。(飯塚)
- ・資格試験の参考書があったのは大変助かりました。(若松)